

## 一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に2億9,634万4千円を追加し、総額153億6,786万3千円とするものです。

歳入の主なものは、市税、地方交付税、国庫支出金、市債などを増額し、財産収入、繰入金を減額するものです。

歳出の主なものは、民生費、農林水産費、教育費などを増額し、衛生費、土木費、諸支出費を減額するものです。

**問** 時間外勤務手当が増額補正となっている。国が掲げる「働き方改革」の取組として、時間外勤務の縮減について、国から通知などもあると思うが、時間外勤務の実績や取組は。

**答** 新規事業による事務量の増加などにもとめない、時間外勤務をしなければならない状況であるが、職員の健康管理のために、時間外勤務の縮減に向けて検討していく。

**問** 自動車燃料購入費助成事業について、今回の補正理由は、利用者が増えたものなのか。また、助成単価を上げる考えは。

**答** 補正理由は、ガソリン券の利用者が増えたことによるものである。助成単価については、タクシーの初乗り料金相当としていることから、運賃改定時に検討する。

**問** 今後の保育所の申し込みの見通しは。

**答** 今年4月に待機児童が26人おり、そのうち8割以上が0歳から2歳児となっている。西地区の定員90名の保育所が完成しても、新たな保育需要の掘り起こしのため、0歳から2歳児の待機児童の解消が難しいと判断し、今回の小規模保育所の設置を行うこととした。

**問** 多面的機能支払交付金について、新規設立を予定していた3地区が年度内の設立が困難になったための減額とのことだが、なぜか。

**答** 地元の合意形成が図られなかったことが大きな要因である。

**問** 白岡中学校周辺事業で交通量調査を予定しているが、次にどのような調査が必要か。

**答** 県との協議に向けて、産業ビジョンを作成していく。

**問** 戦没者慰霊塔維持管理事業の内容はどんなものか。

**答** 八幡公園内に設置されている戦没者慰霊塔の「白岡の塔」を修繕するものである。

この慰霊塔については、昭和44年に設置されて以降48年の歳月が経過し、土台部分の沈下や外壁の汚損などが進んでおり、慰霊塔の管理者である市がこの修繕を行うものである。



備前堀川の仮橋

**問** 債務負担行為補正(追加)について、本事業のロードマップ(工事内容や開通時期、名称)と総整備事業費(白岡分)および工事発注者並びに管理は。備前堀川橋梁の周辺道路について、白岡と久喜分の整備計画および安全対策は。

**答** 仮橋については、久喜市を道路管理者とすることで調整を進めており、工事の発注も、久喜市が行う予定である。工事費は1,600万円ほど見込んでおり、当市は事業費の1/2を負担する見込みである。周辺道路の状況は、久喜市では仮橋の開通にあわせ仮橋から既存の市道に接続する道路の整備を昨年度から進めている。本市では、圏央道の工事で傷んだ市道の舗装を今年度中に修繕する予定である。安全対策については、久喜警察署に信号機の設置を要望した。その他に、ベンガラ舗装を施すなど安全対策を実施していく。